



国民春闘共闘

第 20 号

2017 年 3 月 27 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

検数労連と上部団体の全国港湾

24 時間ストに入る

検数労連と上部組織の全国港湾は、3月23日、第4回中央港湾団交を開催したが交渉は決裂。全国港湾は通告していた3月26日始業時からの24時間ストライキに入った。また、第2波となる翌週4月2日についても24時間ストライキを口頭で通告した。

検数労連と上部団体の全国港湾～港湾労働者の生活向上、大幅賃上げを求めて！

米国の保護貿易傾向、船社のアライアンス再編問題等で港湾運送事業は大変厳しい環境となってきたが、そうした中でも、港湾運送秩序を安定させ、港湾労働者の雇用を守ろうと17春闘産別要求書を3月1日に提出。

その後、3月23日の第4回中央港湾団交で産別最賃を月額168,920円、日額7,345円に改定（3%引上げ）するとした制度賃金に関して、独禁法との関係により事業者団体として「統一回答できない」との姿勢を強めたために、組合側は4月2日の24時間ストを上乘せ通告し、3月26日(日)始業時から27日(月)始業時までの24時間ストライキ（全港・全職種）を2年ぶりに実施した。



3月15日・16日には、全国港湾は17春闘の統一行動として中央行政交渉、ユーザー要請行動、東京・大手町デモ行進等の取り組み、総勢230名が参加した。15日は衆議院議員会館内で決起集会をおこない、民進党、日本共産党、社会民主党、沖縄の風からそれぞれ激励のあいさつを受けた。そして、国交省、厚労省、経済産業省、消防庁に申し入れ書（港湾政策並びに港湾労働に係る申入書等々）を提出し、各省庁と交渉をおこない、日本貿易会、外船協に対しても要請をおこなった。翌16日は千代田区労協との共催による東京・丸の内デモ行進をおこない、広く港湾の現状を訴えた。

STOP暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化